

持続可能な調達 セルフ・アセスメント質問表

サプライヤープロフィール	1	企業名	
	2	業種	
	3	所在地	
	4	従業員数	総従業員数 正規(*6) 非正規(*7) 外国人労働者数(国籍別) ※出向者は除く
	5	記入者	
	6	ISO9001の認証取得の有無	
	7	ISO14001の認証取得の有無	
	8	OHSAS/ISO45001の認証取得の有無	
	9	CSR報告のURL	

A. 第3種イニシアティブにおける評価		回答
A1. 【監査の評価結果有無】	A1 PSCI、TFS、Ecovadis、SMETA監査、または、RBA監査のイニシアティブ(*1)における評価結果がありますか? ① はい (評価結果の添付をお願いします) ② いいえ ③ 不明	

積水化学グループ 持続可能な調達ガイドライン (サプライヤー行動規範)	A1の回答で評価結果を添付くださった場合、以降の段階への回答は不要です。		回答
2.人権の尊重 (7)差別の禁止と平等な機会の提供 本人の能力・適性などの合理的要素以外の理由(人種、国籍、性別、性自認または性的指向、年齢、家系、宗教、民族、移民、等)により、また、児童、高齢者、障がい者、先住民族、貧困者、HIV/エイズ感染者等)により報酬、昇進や雇用などについて差別をしない。雇用後は昇進や研修受講などの機会を平等に提供する。	B. 人権 B1. 【差別の禁止】 B1-1 事業所の人材募集では、差別的な表記を含まず、差別をしないことを明確にしていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 B1-2 差別禁止について全従業員に研修を実施していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
2.人権の尊重 (8)人権・労働慣行に関する苦情処理および救済	B2. 【苦情処理および救済】 B2 従業員のための相談窓口を設置していますか? ① はい ② いいえ		
3.労働慣行 (11)非人道的な扱いの禁止 従業員の人権を尊重し、虐待、体罰、ハラスメント(嫌がらせ)などの非人道的な扱いを禁止する。	C. 労働 C1. 【非人道的な扱いの禁止】 C1 ハラスメント(例:セクシャルハラスメント、パワーハラスメント)などの予防、対応などの対策(研修・eラーニング、窓口の設置等)を行っていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
(12)移住労働者を含む労働条件及び社会的保護 移住労働者(外国人労働者)を公正に扱い、透明な雇用条件ならびに良好な労働条件および生活条件を提供する。	C2. 【労働条件及び社会的保護】 C2-1 親族業者または人材派遣会社を経由して従業員を採用する際、親族業者または人材派遣会社が、従業員本人に対し手数料(*2)を請求していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし C2-2 全ての従業員(派遣社員、外国人労働者を含む)に対し、従業員の理解できる言語で作成された労働条件通知書(および雇用契約書)が渡されていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
(13)ディーセント・ワークに基いた労働条件の設定と労働環境の提供 操業する国や地域の法定最低賃金および法定または予め合意された労働時間・休暇条件を遵守するだけでなく、働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)の視点から労働条件の設定と労働環境の提供を行う。	C3. 【適切な労働時間】 C3-1 過去1年間の1人当たりの労働時間は週平均何時間ですか? ① 60時間未満 ② 60時間以上 ③ 不明(労働時間を記録していない) C3-2 7日間に1日、24時間の連続する休みを取らせていますか? ① 取れている ② 7日間に1日ではないが、月に4日は取れている ③ 取れていない ④ 不明 C4. 【適切な賃金と給付】 C4 労働条件(賃金・労働時間・休日等)を書面に通知していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
(14)強制労働の禁止 本人の意思に反する就労、離職の自由が制限される労働を行わず、また不当な拘束手段を用いた労働強要を行わない。	C5. 【強制労働の禁止】 C5 本人の意思に反したり離職の自由が制限される労働、また不当な拘束手段を用いた労働強要が行われず、ディーセント・ワーク(*3)が実現できていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
(15)児童労働の禁止 各国・各地域の法令に定められた就業最低年齢を下回る年齢の児童を雇用しない。また、児童の健康、安全、道徳、教育の機会を損なうような就労をさせない。	C6. 【児童労働の禁止】 C6-1 15歳未満の従業員がいますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 C6-2 若年労働者(15歳から24歳)がいる場合、労働時間や業務内容について、健康面や安全性(*4)に配慮していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし		
(17)結社の自由と団体交渉権の尊重 従業員が労働環境や待遇を改善する手段として団体交渉権の行使や労働組合などを結成することに対し理解し尊重する。	C7. 【結社の自由の確保】 C7 労働組合・従業員代表との労使交渉を毎年行っていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
3.労働慣行 (18)職場の安全・衛生 作業環境、機械設備や作業方法を安全かつ衛生的なものとするためリスクアセスメントを行う(人体に有害な化学物質のリスクアセスメントを含む)。リスクアセスメントの結果、危険、有害な要因があれば速やかに除去又は低減する。また、従業員に対しては十分な教育とコミュニケーションをとり労使双方で職場の安全衛生確保に努める。	D. 労働安全衛生 D1. 【職場の安全確保】 D1-1 労働安全衛生に関する教育や研修を毎年実施していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 D1-2 適切な職場の労働安全衛生について労働者から報告が上がり、具体的な措置や予防策を話し合い、管理、追跡する仕組みが運用されていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし D1-3 従業員の安全を守るために個人保護具を提供し、使用方法を説明していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし D1-4 避難訓練を毎年1回以上実施していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 D1-5 建物、製造工場などの安全確認および避難設備、防災設備(消火器・消火栓)の点検を毎年1回以上行っていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
(19)設備の本質安全化 機械設備を扱う従業員の安全を第一に考え、作業者が予期せぬ不安全行動を行った場合でも、労働災害・設備災害を発生させないための十分な安全対策を実施する。			
4.環境への配慮 (22)様々な環境課題の解決のために定められている各国、各地域の法令を遵守する。また法令遵守を維持、環境課題の解決を計画的に進めるために、環境マネジメントシステムを構築し、運用する。	E. 環境 E1. 【環境関連法令の遵守】 E1 環境に関する法令を常に把握する仕組みがあり、必要な届出や認可申請などは遅れなく対応していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし		
(23)化学物質の管理 人体や環境に影響のある物質を特定、管理し安全かつ適切に取り扱い、大気や排水への放出を最小限に努める(化学物質管理システムの構築を含む)。	E2. 【化学物質の管理】 E2 化学物質の適正な管理を実施し、安全データシート(SDS)を発行・更新していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし		
(26)資源循環(資源枯渇課題解決)への貢献 使用するエネルギー・資源の最小化に努める。廃棄物の排出量を減らし、排出する廃棄物の再資源化および再生材の活用にも努め、循環型社会の実現に貢献する。また、環境への影響の特定や、汚染の測定・記録、廃棄物の保管・処分における汚染防止対策の実施などの廃棄物管理を行う。	E3. 【省資源と省エネルギー】 E3 事業プロセスにおいて資源・エネルギーの使用を抑える取り組みを行っていますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし E4. 【排水、大気への排出、廃棄物の管理】 E4 水質汚濁物質(BOD、COD等)、大気汚染物質(SOX、NOX、ばいじん等)、廃棄物の排出量などを管理し、法令を遵守していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし		
5.公正な企業活動 (31)買収の防止 違法な政治献金や贈収贈など、あらゆる商取引に当たる行為を行わない。行政、関係省庁や地方自治体に協力、審判を求められた場合は誠実・公正に対応する。また、顧客等との不適切な利益の授受を防止し、健全な関係を維持する。 (33)フェアな企業活動 談合やカルテルなどの競争原理を阻害するような行為、またその疑いを招くような行為をしない。 (36)知的財産の尊重 知的財産の重要性を認識し、かつその権利を尊重し侵害する行為を行わない。 (37)不正行為を発見・予防する仕組みづくり 法令違反、倫理に反する行為を行わないよう常に従業員に対し教育を行う。また不正行為を発見した従業員が相談でき、かつその地位、立場が守られるような仕組みを設ける。	F. 倫理 F1. 【巧職・偽造などの禁止】 F1 過去3年、業務上の便宜を確保・維持するなど不当な目的で、公務員または民間を含む取引先に対する有形・無形の利益の提供及び供与がありましたか? ① はい ② いいえ ③ 不明 F2. 【反競争的行為の禁止と情報漏洩の防止】 F2 公正な競争の損害や知的財産、機密情報の漏洩が起らないよう、研修など防止対策を実施していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 F3. 【不正行為の予防と早期発見】 F3 内部通報者を保護する仕組みがありますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		
6.優良な品質・安全性の確保 (44)製品に含有される化学物質管理 製品に含有される化学物質について、適切に管理を行う。	G. 品質・安全管理 G1. 【製品含有物質の管理】 G1 含有化学物質の管理の体制や仕組み(*5)がありますか? ① はい ② いいえ ③ 不明 ④ 該当なし		
耳遵守状況の確認 サプライヤー様には、積水化学グループが本行動規範の遵守状況の確認をお願いします。この確認作業は、再委託先も含みます。	H1. 【サプライヤーのCSR管理】 H1 調達先に対して積水化学の「サプライヤー行動規範」ないしそれに準ずるものの遵守を審議していますか? ① はい ② いいえ ③ 不明		

*1 PSCI、TFS、Ecovadis、SMETA監査、または、RBA監査のイニシアティブ
PSCI (Pharmaceutical Supply Chain Initiative) 監査: 医薬品業界におけるサプライチェーン(供給チェーン)の監査および改善を目的
TFS (Technical File Service): 化学品の製造、販売、輸送、利用に関連する法的規制に準拠していることを確認するために行われる、化学品登録、化学品の分類とラベリング、化学品の安全データシート(SDS)の作成と管理などが含まれる。
Ecovadis監査: 企業やサプライヤーが環境、社会、倫理的な側面に関する持続可能性の実践を評価するための一般的な監査プロトコルの一つ
SMETA (Supplier Ethical Data Exchange) 監査: 企業や組織がサプライチェーン内の倫理的な実践を評価するための一般的な監査プロトコルの一つ
RBA監査 (Responsible Business Alliance監査): グローバルなサプライチェーンにおける持続可能なビジネス実践と社会的責任を推進するための国際的な業界団体であるRBAのメンバー企業が行う監査活動

*2 手数料
「ILOの労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」では、労働者に対する手数料と費用の請求を禁止しています
参考文献として、ILOの「公正な人材募集・斡旋に関する一般原則及び実務指針」では、募集・斡旋手数料及び関連費用の定義がされています。

*3 ディーセント・ワーク
ILOでは、「働きがいのある人間らしい仕事、より具体的には、自由、公平、安全と人間としての尊厳を条件とした、全ての人のための生産的な仕事」と定義されています。

*4 若年労働者の健康面・安全面への配慮
若年労働者に特有のリスクとして、発達段階にあること、就労技能・経験が不十分なことなどがあげられます。
安全上の危険 例)高所作業、危険な機械設備や工具の使用、乗り物の運転・乗車、乗り物の近くでの作業、爆発性の材料や物質の使用、またはその近くで働くこと。

*5 含有化学物質の管理の体制や仕組み
化学物質の登録と分類 : 化学物質は、その性質に基づいて分類され、適切な方法で登録される必要があります。これには、物質の識別、特性、危険性などの情報を収集し、記録するプロセスが含まれます。
危険性評価とラベリング : 化学物質の危険性を評価し、適切な危険性レベルを付けることが重要です。これにより、人々が適切に取り扱い、使用するための情報が提供されます。
貯蔵と取り扱い : 化学物質は、特定の条件で安全に貯蔵および取り扱われる必要があります。これには、適切な容器、保管場所、温度、湿度、換気などの要因が含まれます。
作業環境の安全 : 化学物質を使用する作業場所では、従業員を保護するための対策が取られなければなりません。これには、適切な保護具の使用、事故時の対応(緊急時のシャワーおよび洗眼器の設置)、訓練などが含まれます。
リスク評価と管理 : 化学物質の使用に伴うリスクは、評価され、最小限に抑えるための対策が講じられなければなりません。これには、事故予防、緊急時の対応計画、廃棄物処理などが含まれます。
法規制と規制遵守 : 各国は、化学物質の取り扱いに関する法律と規制を制定しており、これらに従うことが求められます。企業や個人は、これらの法律と規制を遵守しなければなりません。
情報共有と教育 : 化学物質の安全な取り扱いに関する情報は、関係者に適切に共有され、従業員や一般の人々に対して教育される必要があります。これにより、意識が高まり、事故のリスクが低減されます。

*6 正規: 期限の定めのない雇用契約で働く社員
*7 非正規: 期間を定めた雇用契約で働く社員